

産業建設常任委員会活動レポート

開催日時：令和３年１１月１９日（金）

開催場所：１・２号委員会室

建設水道部

１．建設工事の進捗状況について（視察）

- ・ 広陵中学校グラウンド改修工事は、ほぼ終了に近く 90% の進捗です。
工期は、令和３年 6 月 14 日～令和 3 年 12 月 13 日です。
（請負金額 232,991 千円・進捗状況 90%・令和 3 年 11 月 14 日現在）
- ・ 100m 直線走路や 200m トラック、走り幅跳び用コースと砂場、軟式野球場と新しいバックネットの設置も終わっておりました。年内に残りのグラウンド用土を敷いて整地を終了する予定です。降雨があっても水溜りになることはないとのことでした

２．除雪機機械格納庫新築工事 B 棟（視察）

- ・ 除雪車庫整備計画に基づいて、２年前の A 棟に引き続き今年度 B 棟が建設されました。
- ・ A 棟には 7 台の除雪車輛が格納されております。
- ・ B 棟には本年度購入の除雪車両 2 台と、除雪車整備計画に基づいて今後、配置予定の除雪車両が格納されます。

経 済 部

１．ふるさと納税について（11 月 19 日当委員会の討論結果）

より多くの納税額を目指す体制整備

町は、ふるさと納税額の目標を 3 億円としているが、町の財政状況、町立病院への繰り出しなどを考えると、ふるさと納税により 30 億円以上の歳入増を図るような気概を持って、本腰を入れるべきである。

新たな返礼品の開発や施設の整備などの体制づくりについて、町との協議を進めたい。

町との協議事項

- （１）役場内にふるさと納税、クラウドファンディングなどを担当する新規部署の設置。
- （２）新規部署に民間から能力、経験のある人材を雇用する。
- （３）新規部署でコンサルティング会社などを活用する。
- （４）町内からアイデアの募集を行う。
- （５）庁舎内で部署を横断したプロジェクトチームを作り役場全体の機運を高める。
- （６）庁舎内新規部署と関係団体、町民有志などによる検討会を設置する。
- （７）民間と連携し、海産物加工施設などの整備に投資する。
- （８）中標津空港と本町の自然や体験型観光などを活かした商品開発を行う。

2. 「家畜ふん尿の汚水流出事故」について

標記事故について担当部署より説明がありました。

今回の事故は、本年 11 月 15 日未明に、北中の農場の家畜ふん尿貯留施設から汚水がミドリ川に流出したものです。

事故発生直後に、根室振興局、役場の担当部署、中標津農協で現場の確認を行い、ミドリ川や丸山公園池の入・出口に、ろ過機の設置をするなどの対応を行いました。

同日 16 時ごろには、ふん尿の流出が止まったことを確認しました。

また、翌日からミドリ川、丸山公園池の水質の調査を続けており、水質改善が確認されてきています。

今後の対応については、水質検査の継続的な実施と目視の巡回を続け、状況を関係機関に随時報告し、また再発防止のために該当農家の施設の改善を行うとともに、同じような事故が起こらないように町内各酪農家の調査点検を実施しますとの報告を受けました。

産業建設常任委員会では、11 月 19 日にミドリ川と丸山公園池の状況の視察をしました。視察時には、ふん尿の流出は完全に止まり、ミドリ川の汚濁色や臭いも無い状況でした。委員会からは、再発防止のため当該農家以外の町内酪農家の施設点検やふん尿の管理、扱いに対する指導を強くしていくよう伝え、関係機関と連携し早急に実施するとの回答を得ました。